

報告

平成21年北海道医師会 新年交礼会を開催!!

去る1月6日(火)午後6時30分から札幌グランドホテル2階「グランドホール」を会場として「平成21年新年交礼会」を盛大に開催しました。高橋知事、道庁ほか関係官庁の医療行政関係者、道会議員、医療関係団体など多くの来賓・招待者と郡市医師会役員ならびに当会役員等、約340名の出席のもと新年の門出を祝いました。

入場時には、会場正面ステージの前で、長瀬会長をはじめ当会役員が出席者をお迎えしました。

深澤常任理事(総務部長)の司会で開宴。長瀬会長は「この数年、医師不足・偏在から来る地域医療の崩壊が問題になり、国もやっと医師養成増を決めたが、官民総力を挙げて対処していかなければいけない事態に陥っている。当会では道の要請を受けて、北海道病院協会と緊急臨時的医師派遣事業を立ち上げ、協力医療機関も増え微力ながらも対応しているところである。しかし、地域医療崩壊の一番の

原因は長年にわたる社会保障費の抑制政策であり、毎年2,200億円の削減が機械的に続けられている。もうこれ以上の削減は無理だと多くの人が指摘しているがこの方針は撤廃されておらず、息の長い運動を続けなければならない。当会では、地域医療に関わる意見交換会を各地で開催するなど、つぶさに地域の実情を話し合っており、1月17日には北海道と共同で救急医療フォーラムを行うなど、道民に広く医療の現状を認知してもらう活動を今後も続けていく所存である」との年頭挨拶を述べました。

また、来賓として出席された高橋はるみ知事からは「北海道には、地域経済の活性化や医療・福祉の充実など、解決しなければならない諸問題が山積しており、関係諸団体の協力の下、一つ一つ地道に解決すべく努力をしなければならないと感じている。特に医療に関しては、道民の暮らしの安全・安心を支える観点からも重要であり、きめ細かな取り組みでこれからの的確に対応していきたいと考えている。どうか、引き続き皆様方のお力添えをよろしくお願いしたい」とのご祝辞をいただきました。

三宅副会長の祝杯にて交歓に移り、道会議員、医療関係団体代表等の来賓各位を紹介し、ステージ上にてそれぞれスピーチをいただきました。また、本席に寄せられた祝電を披露したのち、終始和やかな懇談が行われました。

結びに、宮本副会長から「ご参会のみなさまのご健康を祈念します」とのこととともに乾杯が行われ、盛況裡にお開きとなりました。

—総務部—



会場入り口で参会者をお迎えする当会役員



長瀬会長(年頭挨拶)



高橋知事(来賓挨拶)



会場内風景